

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング ～ 質疑応答 ～

【質問・要望 1-1】 高齢者施策のスクラップ&ビルドについて

いろいろと高齢者向けの活動を伺ったが、先ほど、財政的に苦しい中で、さらに高齢者が増えていくと言われた。そうになると、やはりスクラップ&ビルドをしていかなければならない。

例えば、先ほど「芙蓉園でお風呂に入れますよ」という話があったが、仮にこういう施設を利用している人が 100 人いて、それが同じ人たちばかりだったとしたら、「市民のため」ではなく、「その人たちのため」の施設・サービスでしかない。そういうことをしていたら、どこかで苦しくならざるを得ない。無くさないまでも、受益者負担ということで、いくらか料金を払ってもらおうとか、そういったことを当然考えるべきではないか。無料というのがベストであるとは限らない。

【質問・要望 1-2】 市庁舎のサテライト化について

高齢者が増えてくれば、遠くまで行けない人も当然増えてくる。コミュニティバスもあるが、十分とは言えない。そういう観点から、市の事務所をもっと分散させて、サテライト化すべきではないか。大きくて立派な庁舎を建てることも必要なのかもしれないが、当初の予算から増えて 110 億円くらいになると聞いている。70 億から 110 億になるとすれば、その増える分を、サテライトに回す、充実させるというのも一つの方法。

先ほど、市の予算が 500 億円という話があったが、このうち市債などの返済に充てられている分が多くあるはずで、実際にはもっと小さな財政規模だろう。庁舎建設費用を 100 億円とすれば、500 億円に対しては 2 割だが、実際には 3～4 割という数字になってくるのではないか。もう少しメリハリのきいた財政運営をしてもらいたい。立派なものばかりを建てるのではなく、もっと将来を見通したスクラップ&ビルドをすべき。

それをしてしまうと、痛いところがあるだろう。投票に行く人の多くは高齢者なのだから。市長はそうは言っていないかもしれないが、将来、若い人たちの負担を減らす方法としても、そうあるべきだと思う。いろいろなサービスを展開していただくのは結構だが、それは結局すべて私たちに降りかかってくる。再考していただきたい。

【回答 1-1】

まず、受益者負担の件についてお話しします。

「受益者負担」という考え方は非常に重要です。本市でも、少し前、私が議員時代に、公民館の利用料を有料にさせていただきました。

一方で、健康増進という観点があります。私たちとしては、皆さんに元気に生き生きと暮らしてほしい。そういう取り組みを進めている側でもあります。ですから、有料化することで、その取り組みに歯止めがかかってしまうというのでは困ってしまいます。

ご指摘のとおり、先ほどのお風呂ひとつとっても、維持には非常にお金がかかります。そもそも行政の展開しているサービスというのは、大抵の場合、利用者からいただいているお金があったとしても、必要経費の 3 割程度に止まります。残りの 7 割は、皆さんからの税金で賄われているわけです。ですから、私たちとしては、それが本当に必要なサービ

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

スであるか否かをしっかりと見極めなくてはなりません。特にハコモノ関係ですね。「こういうのを建ててほしい、ああいうのを建ててほしい」というご意見はたくさんいただきますが、それらを直営で展開するのは避けたい。そう私たちが言っているのは、こういった理由があるのです。特に、これからは入ってくるお金の方が少なくなってくるわけですから。

【回答 1-2】

続いて庁舎建設の話です。

先ほど「サテライト型」という提案がありましたが、私たちの考えはまったく逆、集約型で考えています。それは何故かと言うと、いま既に 8 カ所に分散しています。役所というのは、市長をトップに、基本的に縦割りで業務をしています。縦割りであるからこそ、普段から交流を持って、意思の疎通を図っておかないと、連携を取ることができません。

国にはいくつかの省庁があって、そこから市に向かって情報が下りてくるわけですが、例えば「文科省から出たものは〇〇部」と明確に分けられるものばかりではありません。一つの話の中でも、「この部分は〇〇部だけど、こちらの部分は△△部」ということもあるわけです。こうしたことが多々ありますから、ほとんどの市は集約型を採っています。

特に習志野市の場合は、千葉県内で 4 番目に面積の小さいまちです。他の市から見れば、現時点で既に「やりすぎだ!」というレベルで分散し過ぎています。以前、『コンパクト・シティ (※) のつくり方』という講習を受けたことがあるのですが、習志野市の 5 倍・10 倍という面積の市町村を標準にして話をされるので、集約するエリアが習志野市一つ分の大きさであったりします。ですから、習志野市は今後もっと集約していくという方向がベストであると考えています。

なお、皆さんの健康に関することを担っている地域包括支援センターについては、現在も市内各地に配置していて、サテライトの形を採っています。ただし、事務については、一極集中とさせていただきたいということです。

※『コンパクト・シティ』

拡散した都市機能を集約することで、生活に必要な諸機能が近接した、効率的かつ持続可能な都市、あるいはそれを目指した政策のこと。

新庁舎については、豪華と言われてしまうのですが、いま、京成津田沼駅前の仮庁舎で借り暮らしをしています。その賃料が、1 m²あたり 2,200 円です。建物の約半分の面積を借りていますから、年間約 1 億 5 千万円の賃料となります。もう築 20 年くらい経っている建物なのに、です。駅前ですから、ある程度は仕方ない部分もあるかもしれません。

単純計算として、この 1 億 5 千万円を 100 年続けたとしたら、150 億円です。しかし、仮庁舎は、市役所全体の 3 分の 1 程度の機能しか担っていません。ですから、実際にはその 3 倍の面積が必要ということになります。すると、年間では 4 億 5 千万円。20 年すれば 90 億

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング ～ 質疑応答 ～

円に達します。100 年なら 450 億円です。

現在建てようとしている庁舎は、60 年から 80 年はもちます。何もしなくても 70 年はもつように、というのがコンセプトとなっています。それに 110 億円です。ですから、費用対効果からすれば、十分に勝っています。しかも、分散している庁舎が一か所に集約できる。

皆さん、市役所に行って、信号待ちをしている職員を見たことがないでしょうか。あの時間というのは非常に勿体なくて、それを累積していくと、一年で約 5 千万円のロス（損失）が出ているという試算が出ています。

いま、「市民が通うとなれば、それ以上にロスがでる」という発言がありましたが、一般の市民の方が市役所にいらっしゃる頻度というのは、全市民を平均すると、一人当たり年に 1・2 回なのです。市が提供しているサービスは、どれも必ず職員が関わっていますが、こうした市民サービス全体の 9 割以上が、いわゆる事務作業を通して提供されるサービスです。残り 1 割が、来庁された方に提供されるサービスだと言えます。ですから、集約した方が、費用対効果は格段に上がるのです。もちろん、できるだけ京成津田沼駅側に寄せて建てるだとか、来庁者の利便性に配慮した形にはしていきます。

ちなみに、本市の一般会計約 500 億円の予算のうち、自主財源の比率というのは 60～70% です。300 億～350 億円ということになります。債務、いわゆる“借金”は、一般会計ベースで 300 億円ほどあります。全会計に占める債務の割合である「将来債務比率」で言うと 70%になるのですが、レッドラインは 200%（金額で言うと 1,000 億円）とされています。このように、習志野市の財政は、環境としては豊かであると言えます。ただし、豊かなだけに、市民ニーズに対してできる限り応えてきた結果、歳出が多いとも言えますが…。

昔、社会科の授業で“3 割自治”だとか“2 割自治”だとかという言葉を知ったことがあると思います。あれは、つまり自主財源比率が 3 割、2 割だということで、それでは習志野市は“6～7 割自治”ということになります。それだけ優れているということです。

しかし、財政が今後逼迫^{ひっぱく}していくことは間違いありませんから、庁舎を集約して財政を縮減し、健全に運営していきたいというのが私たちの考えです。

やはりイニシャル・コスト（導入時の費用）が大きくかかりますから、物凄い金額のように見えますが、実はこのまま維持する方が、余計にお金がかかるということです。

【質問・要望 1-3】 財政運営について

話は分かるが、私が言いたいのは、元々計画していた予算は順守すべきで、それ以上に増えるのはおかしいということ。もっと全体をスケールダウンして、予算の中で対応すべきであって、増やせるお金があるのなら、もっと別のところに使うべきだということ。建設の予算を増やす必要が無い。

【回答 1-3】

新庁舎建設費用 110 億円のうち、23 億円については国からの補助が受けられそうな状況

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

です。もちろん、国からの補助も、元をたどれば税金なわけですが。

ちなみに、私はどちらかというと、お金を使うことが好きではないタイプです。しかし、そんな私が見ても、この 110 億円という金額は決して高いものではありません。むしろ安いと言ってもいい。大きさも小さい。全国的な平均からすると、人口当たりの面積はかなり小さい。少なくとも 1 割は下回っています。これからサービスはもっと増えていくというのに、です。ですから、決して豪華な庁舎とは言えません。

《補足》新庁舎の建設事業費について

平成 24 年度に策定した新庁舎建設基本構想において約 76 億円としていた事業費が、約 110 億円となった原因はいくつかあります。具体的には、震災復興やオリンピック誘致決定等による建設物価の急騰、消費税の改定、調査の結果必要となった追加の液状化対策、計画見直しによる増床などが挙げられます。

本市としましても、事業費圧縮のため、エスカレーターの設置を取り止め、庁舎面積の増加を極力抑えるよう計画したほか、同時期に建替予定であった消防庁舎や多目的ホールの建設を先送りにするなどの対策をとっています。

このように、事業費の増加は、決して無闇な設備拡充によるものではありません。市民の皆様にはご負担をお掛けしますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

(新庁舎等建設本部)

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング ～ 質疑応答 ～

【質問・要望 2】福祉施設の充足率について

今日の話の中にもあったが、特別養護老人ホームの拡充ということで二か所。一つは新設で、一つは増床とのことであった。

習志野市が現在置かれている状況、例えば 65 歳以上の人口に対する福祉施設の割合はどうなっているのか。近隣の船橋市や八千代市、千葉市といったところと比べて、どのような位置づけにあって、市長はそれをどのように捉えているか。一言で教えてほしい。

ちなみに、私が手に入れた資料に、平成 26 年 6 月 1 日現在の介護保険施設一覧というものがある。どこからもらった資料か分からないが、介護老人福祉施設と介護老人保健施設の施設事業所の名称が、習志野市・千葉市・船橋市・八千代市で一覧となっている。

これによると、65 歳以上の人口は、1 施設あたり、船橋市は 7,150 人、千葉市は 5,821 人、八千代市が 7,000 人、そして習志野市が 8,900 人となっている。習志野市が最も多い。もちろん、これは「1 施設あたり」なので、各施設の収容人員によって変わってくると思う。一般的に、施設の入所待機者も多いと聞くが、実際のところ、近隣市と比べてどういった状況なのか。30 秒くらいで答えてもらいたい。

いまは自宅で老後を過ごす方向に進めていると聞いているので、非常に難しい問題だと思うが、よろしくお願ひしたい。

【回答 2】

施設数という話で言えば、65 歳以上が 3 万 5,000 人いらっしゃるという中で、現在あるのは 4 施設です。そして 5 つ目が新たにできる予定となっています。ですから、そちらの資料と同様、1 施設あたり的人数で考えれば、7,000 人ということになります。

特別養護老人ホームのベッド数は、4 施設で 430 あります。これに対して、申込者数は 469 人となっています。よって、いわゆる“待機”している人は、39 人ということになります。いま「意外と少ない」という声がありましたが、今後は急激に増えてくると思います。ただ、この『待機』というのも、「一応申し込んでおこう」というレベルの人から、「どうしても必要だ」というレベルの人までいますから、同じ『待機』でも状況はまちまちです。先ほどの 39 という数字は、本当に必要だと認めた数をカウントしていますから、実際のところ、ここの数え方は市によって違ってきます。保育所の待機児童などと同じですね。明確な基準がありません。

少し話は変わりますが、他市に比べて、習志野市の「ここは誇るべき！」というものの一つに、保健師資格を持った職員の多さがあります。保健師というのは、看護師の資格を持ち、健康をプロモーションする職員です。このように、皆さんの健康をサポートする職員は多くいますので、施設に限らず、ぜひ活用していただければと思います。

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

【質問・要望 3-1】 てんとうむし体操の普及について

私たちは毎日 15 人くらいで集まって、森林公園で『てんとうむし体操』をしている。せっかく良い体操があるのに、習志野市は活かしていない。市の職員も視察に来て、「ここはすばらしい」と言うが、それで終わり。推進員という人たちも増えているようだが、その人たちだけでは少しずつしか広がらない。もっと良い方法があるはず。

【回答 3-1】

私のイメージとしては、1 児童遊園あたり 1 団体くらいの割合になってほしいなと思っています。この活動については健康支援課が担当していますが、既にそういった指示を出しています。

地域でそうした活動を、何も無いところから始めようとする、住民の中で自然発生的に起きたものは別として、どうしても段取りが必要になります。その段取りをどうしていくか。そこを担う人材や、手法が乏しいというのが現状です。

いま、その部分について発破をかけているところなので、これからだんだんと成果が出てくると思います。

【質問・要望 3-2】

誰しも必ず高齢者になっていくのだから、なるべく若い人たちに取り組んでもらって、転倒しないように、寝込まないようにしていくことが重要だと思う。

【回答 3-2】

現在、てんとうむし体操の推進員は 90 人いらっしゃいます。いま、「若い世代」という話が出ましたが、若い世代は共働きが多くなっていて、昔に比べ、若い世代が地域の中で過ごす時間というのは、非常に少なくなっています。

私が行政に携わってきた中での実感ですが、やはり若い世代には時間が無い。ですから、いかに 61 歳の人に参画していただくかが重要になってきます。

若い世代に目を向けるのはもちろん大切ですが、一方で高齢化のスピードは速く、待たなしの状況です。若い世代の獲得に時間をかけていると、高齢化はどんどん進展してしまいます。そこで、発想の転換。61 歳＝若いと考えて、61 歳の人にもっと焦点を当てていく。この発想は重要なことなのではないかと考えています。

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

【質問・要望 4-1】 子ども（小学生以上）の居場所づくりについて

我が家には高校生から小学生まで、子どもが 3 人いる。少子化社会の中では、貢献している方だと自負しているが、環境さえ整ってれば、4 人目・5 人目といったこともあり得たと思っている。私の母が 9 人兄弟なので、昔の人はすごいと思う。

私が「もうこれ以上は無理だ」と思ったのは、地元の北海道から出てきて、子どもの面倒を見てくれる祖父母もいない状況で、共働き。保育所に預けながら、本当に大変な思いをして、ようやくここまで来た。

思うに、子どもたちの“居場所”が無いのではないか。父も母も忙しいし、市内には児童館が一つしかない。母親の立場からすると、小学校区に一つくらいは児童館を設置してほしいとずっと思ってきた。唯一の児童館も、だいぶみすぼらしい。子どもたちを惹きつけるようなものがまったく無い。昔の子どもたちと違い、いまの子どもたちは何でも持っている。そういう子どもたちの興味を惹くには、それだけの努力が必要。

そういった状況なので、子どもたちに「遊びに行ってきたら」と言っても、「ええー」という反応が返ってくる。他市の児童館では、体育館があって、バスケットコートがあって、行けば誰かがいる。約束していなくても、雨が降っていても、行けば誰かと遊ぶことができる。習志野市は比較的子どもの数が多いまちだと思う。土地も高いと思うので、学区に一つというのは無理だろうが、もう少しどうにかしてもらいたい。

例えば、児童館に行ったらシルバー人材センターの人など、いろいろな世代の人たちと接点を持つことができれば、協調性や思いやりを育むことにつながる。接点が無いと、相手を理解できないので、どうしても世代間の溝が深くなってしまう。これは非常に深刻なことだと思っている。

【回答 4-1】

ご指摘のとおり、申し訳ないのですが、特に藤崎地区は、そういった施設が少ない地域です。ただ、いま「公園も無い」という声がありましたが、公園は法律の定めがありますので、一定量は確保されています。例えば、このかもめ公園もそうですし、森林公園もあります。もちろん、それが近いか遠いかという部分は、皆さんそれぞれあるでしょうけれど。

子育て支援施設として、いま習志野市が行っているものとしては、一つは『こどもセンター』。これは杉の子こども園と東習志野こども園、そして耐震性の関係で暫定とはなっていますが、鷺沼にあります。いずれも藤崎地区ではありません。

【質問・要望 4-2】

こどもセンターがあるといっても、こどもセンターの対象は赤ちゃんだけで、小学生以上は対象外ではないか。

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

【回答 4-2】

こどもセンターの対象は赤ちゃんだけではありませんが、就学前の乳幼児と、その保護者としています。仰るように、小学生以上は利用できません。小学生に関しては、放課後児童会に対応しています。

【質問・要望 4-3】 放課後児童会（学童）について

放課後児童会というのは、学童のことか。そうであれば、習志野市の場合、お金を払わなければならないし、結局、学校が終わってから1・2時間行って、おやつをもらって帰ってくるだけ。しかも、親にも係がある。ただでさえ忙しい私たちが、お金を払わなければいけない上に、さらに係までやらなければならない。はっきり言って、こんなもの入りたくない。保育所にもお金を取られていて、一体何のために働いているのか。

これが働きながら子どもを育てている者の生の声である。

【回答 4-3】

習志野市の放課後児童会は、すべて学校の敷地内に設置しており、他市町村に比べて非常に手厚いということで、確固たる評価を得ています。

子育て世代のそうした声は十分に理解しているつもりですが、やはり市が施設やサービスを拡充するということになれば、非常にお金のかかる問題になってきます。例えば、地域の中でも社会福祉協議会がそうした取り組みをしているところもありますし、この集会所のような建物を利用して取り組んでいるところもあります。また、市民プラザ大久保でも、市民の方が放課後対策をしています。

こうした地域の中、市民の中での取り組みを先導するのは、もちろん行政の仕事だと思います。いかに現存する施設やサービスなどを活用して、皆さんのニーズに対応していくか。その点については、逆にヒントをいただければ非常にありがたいです。

【質問・要望 4-4】

私たちの生の声ということで、愚痴のような話になってしまったが、いまの子どもたち。つまり、団塊ジュニアの子どもにあたる世代が、今後、高齢者を支えていくことになる。そのために、いまから取り組んでいくべきだと考えて、意見を言わせてもらった。

【回答 4-4】

その視点は間違っていないと思います。ですから、国の方でも、平成 27 年から子ども・子育て関連 3 法というものが施行されるわけです。これによって、いろいろと子ども・子育てを取り巻く環境は変わってくると思います。ただ、この中に、子どもの居場所づくりというものがどの程度入ってくるかは何とも言えません。

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

【質問・要望 5-1】 森林公園における自転車利用について

森林公園については、基本的に自転車走行禁止ということで、老人会である『あかしあ会』が口頭で「自転車は降りて、押して歩くように」とお願いをしている。注意を聞いてくれる人もいれば、聞いてくれない人もいる。いまの時代、注意したことで殴られたり、刺されたりという心配もある。市長の方で習志野警察と協力して、公園内に何か所か立札を立ててもらいたい。習志野市公認・習志野警察公認の「自転車は降りて歩いてください」というものにしてほしい。

以前、母親と小さい子が公園内でボール遊びをしていたので、強く注意したところ、親に激しく反論された。喧嘩をするわけにもいかないので、すぐに市役所に連絡したところ、翌日に立札が設置された。あの対応には非常に感銘を受けた。

いま、森林公園内にはそういった立札が無い。やはり「警察署」と書いてあるだけで、結構な効果があると思う。そういうことができるのかどうか分からないが、ぜひ取り組んでもらいたい。

【質問・要望 5-2】 警察によるパトロール強化について

以前は、「巡回交番」というか、警察官がいろいろな所を回ってくれていたが、いまは交番が一つしかなく、しかも警察官が常駐していない。「警察官が見て回っている」という意識があるだけで、悪いことはしづらくなる。

そういったことについても、市長から警察に話をしてもらえたらと思う。

【回答 5-1】

自転車のことについては、警察としても、今後はどんどん違反切符を切ると言っています。実際にどの程度切っているのかは分かりませんが、現在、自転車の交通マナーが大変問題になっています。自転車利用者についても、自動車と同じように違反切符を切ることができるようですので、それをもっと強化するよう要望したいと思います。

御要望の立札、看板についても、設置するようになりたいと思います。本当であれば、そもそも自転車が入れないようにしてしまうのが簡単です。しかし、自転車が入れないようにしてしまうと、車椅子やベビーカーの利用者にまで影響が出てしまうので、そこは考慮して取り組まなければなりません。

【回答 5-2】

交番の件については、警察の方も人件費の削減ということで、やはり警察官の人数が少なくなっています。巡回については、町会の方でもいろいろとやっていただいて、かなり成果が出ていますが、最も成果が出ているのは防犯カメラです。

千葉県内で最もひったくりが多かったのが、船橋市の前原東 2 丁目辺りで、次に習志野市の藤崎 3 丁目なのですが、実はちょうど市境だということで、実質的には同じところなのです。ここが断トツに多かった。なぜかと言えば、駅に近い真っ直ぐの道路であることや、市境のために警察の管轄が違うということがあり、犯人も捕まらないように工夫して

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

いるわけです。

ここに防犯カメラを設置したところ、犯人を逮捕できたこともあり、ピタッとひったくりが無くなりました。やはり防犯カメラの効果は絶大です。

【質問・要望 5-3】

藤崎 7 丁目の中に防犯カメラは設置されているのか。また、どこが設置したのか。

【回答 5-3】

藤崎 7 丁目には設置されていないと思います。いまの話は藤崎 3 丁目の話です。

防犯の重要なポイントは、いかに犯人の気持ちになって、犯人の嫌がることをするかということです。いま、空き巣だとかひったくりだとかの件数は減少傾向にあります。防犯対策が奏功しているようにも見えますが、一方で振り込め詐欺が急増しています。なぜかといえば、振り込め詐欺というのは、犯人にとって、捕まるリスクが極めて低いものだからです。ですから、多くはそちらに“投資”する。結果、リスクの高い空き巣やひったくりは減少するものの、振り込め詐欺は増える。そういう状況にあります。ですから、身代金目的の誘拐なんて、いまやまったく無いですよ。

話を戻しますが、防犯カメラの効果は大きいですから、町内で検討してみてもいいのではないでしょうか。設置を嫌がる人も少なくありませんから、よく話し合っただけだと思います。防犯灯も、農業を営んでいる人からすると、作物の成長に影響があるので、嫌がられる場合があります。町会で検討するとしたら、防犯カメラと防犯灯、この二つが主になると思います。

《補足》防犯カメラの設置について

危機管理課では、ひったくり対策として県から補助金を受け、藤崎 2・3・4 丁目と花咲 1 丁目に各 5 台、合計 20 台の防犯カメラを設置しました。

なお、設置および維持・管理は習志野市（危機管理課）が行っています。

（危機管理課）

【質問・要望 5-4】

防犯カメラの効果が高いことは分かったが、高価なのではないか。

【回答 5-4】

この場ではっきりとは言えませんが、カメラの値段は昔と比べてかなり安くなっていますし、性能などによってピンキリだと思います。

ダミー（偽物）でも十分に効果があります。もちろん、「あれはダミーだ」なんて言って歩いてはダメですけど。一つだけ本物を付けておいて、他はダミーにして、定期的に本物の設置場所を変えるだとか、そういった方法もあります。

平成 26 年度第 4 回タウンミーティング
～ 質疑応答 ～

【質問・要望 5-5】

私自身はあまり聞いたことが無いのだが、藤崎 7 丁目の犯罪発生件数は多いのか。

【回答 5-5】

手元にデータがあるわけではありませんが、藤崎 7 丁目については、特に犯罪発生件数が多いという話は聞いたことがありませんので、多いということは無いと思います。

あるとすれば、空き巣などの犯罪でしょうか。どちらにせよ、用心するに越したことはありません。

【質問・要望 6】 新庁舎に入る飲食店について

新しい庁舎にはレストランなどは入るのか。

【回答 6】

市民食堂は入る計画になっています。